



・NPO法人設立資金助成金を贈呈される滝沢委員長（左）と松木代表＝静岡市呉服町の損害保険ジャパン静岡支店

NPO法人設立資金助成金 県内2団体に贈呈

パンなど
ジャパ
ン財団
記念保
念記

損保ジャパン記念財団（東京都）は二十五日、本年度のNPO法人設立資金助成金を福祉団体の駿和会設立準備委員会（島田市、滝沢奎吾委員長）に贈呈した。また損保ジャパン環境財団（同）も同助成金をストップ・ザ・温暖化静岡県民ネットワーク（静岡市、松木徳夫代表）に贈った。助成金は各三十万円。

贈呈式は静岡市呉服町の損害保険ジャパン静岡支店で行われ、原永幸治支店長が「法人化でさらに大きく発展し、先駆的な役割を果たしてください」と激励した。

駿和会設立準備委員会は知的障害者などの支援活動に取り組み、来年一月にNPO法人の認可を取得する予定。ストップ・ザ・温暖化静岡県民ネットワークは地球温暖化防止活動の情報発信などを事業内容とし、来年

四月の認可取得を見込んでいる。記念財団は昭和五十二年の創設時から社会福祉助成を実施し、十一年度からNPO法人設立助成を始めた。環境財団も十一年度から助成している。

全国における本年度の助成対象は記念財団が百団体、環境財団が十五団体。県内では記念財団が二十二日、知的障害児者介助などの「けるん」（伊東市、福井英子代表）に寄贈。同財団は二十八日、高齢者・障害者在宅生活援助の「ゆつゆつの家」（森町、竹内やぶ子代表）に贈呈する。



新設NPO法人 けるんに助成金

伊東、損保ジャパン

島市に開設する施設での
デイサービス事業などに
取り組む。

沢支店長（左）から決定通知書を受けける福井理事長＝伊東市大原

損保ジャパン記念財団は二十二日、県東部地区で知的障害児・者支援に取り組む特定非営利法人（NPO）「けるん」（事務局・伊東市、福井英子理事長）に、社会福祉分野の本年度新設NPO法人に対する助成制度の適用決定を通知した。
助成金額は三十万円。沢拓也損害保険ジャパン東静岡支店長が同市大原の福井理事長宅を訪れ、決定通知書を贈った。
けるんは十三年にわたり障害児の地域余暇を支援し、ことし九月にN

県内2団体に
助成金30万円

損保ジャパン財団

損保ジャパン記念財団(有吉孝一理事長)は十日、岐阜市元浜町の障害者自立センター「つつかいぼつ」(戸田二郎代表)と多治見市小田町の宅老所「楽のく」(武田美津子代表)に、NPO(民間非営利団体)法人の設立補助金として、それぞれ三十万円を寄付した。同財団は、毎年福祉団

体のNPO法人設立への助成を行っており、今年で四年目。年内にNPO法人化を目指す両団体が対象となった。



杖鞭憲一(左)損保ジャパン岐阜支店長から目録を受け取る戸田二郎さん(右)岐阜市金町、損保ジャパン岐阜支店

贈呈式は損保ジャパン岐阜支店II岐阜市金町、杖鞭憲一支店長IIで行われ、戸田さんとNPO法人化を支援した服部朝子さんNPOセンター理事が出席。杖鞭支店長から目録を手渡された戸田さんは「障害者自身が自立できる社会を目指し、援助を必要としている障害者にしっかりした支援をしていきたい」とお礼を述べた。

NPO設立に助成

損保J記念財団

財団法人損保ジャパン記念財団は二十三日、金沢市長土堀二丁目「サポートステーションWakuwaku」に、NPO法人設立資金として三十万円を贈った。

同財団は全国の障害者・高齢者福祉団体百力所に社会福祉助成金を贈っており、今年は全国で二百八十五団体から申請があった。

贈呈式では安斎英明損害保険ジャパン金沢支店長が「今後も団体設立に積極的に支援していきたい」と述べ、勝田ゆかりサポートステーションWakuwaku代表に助成決定通知書を手渡した。



助成決定通知書を手渡す安斎支店長(右)II金沢市香林坊一丁目の損保ジャパン金沢ビル

NPO法人化を支援

損保ジャパン 福祉団体に助成金

民間の障害者、高齢者福祉団体を支援する損保ジャパン記念財団のNPO



牛島代表(右)に助成金を贈る立花支店長
—富山市の損保ジャパン富山支店

〇(特定非営利活動)法人設立助成金の贈呈式は二十三日、富山市本町の損保ジャパン富山支店で行われ、農業を通して障害者の自立と就労支援に取り組み富山市の「食と福祉と環境」を考えるネットワーク」に三十万円が贈られた。同ネットワークは県内の福祉施設を訪れてフルーツや料理を振る舞うほか、障害者と共同で野菜作りに励んでいる。今年度中にもNPO法人格を取得する予定で、取得後は富山市の呉羽丘陵にケアハウスや作業所などを建設し、障害者や高齢

者の自立と就労を支援する「くればは丘陵癒しの里」を進めていく。贈呈式で立花一元損保ジャパン富山支店長から助成金を受け取った牛島政信同ネットワーク代表は「癒しの里構想を実現し、障害者と高齢者の生きがいづくりを応援したい」と感謝を述べた。

12.10.24 北日本新聞

「食と福祉」にNPO設立資金助成

損保ジャパン財団

財団法人損保ジャパン記念財団のNPO法人設立資金助成の対象に、富山市の「食と福祉と環境を考えるネットワーク」(牛島政信代表)が選ばれ二十三日、同市本町の損害保険ジャパン富山支店で贈呈式が行われた。贈呈式では、立花一元支店長が「NPO法人格を取得で、一層活発な活

動を展開してほしい」とあいさつし、ネットワークの牛島代表に助成の決定通知書を手渡した。同ネットワークは福祉施設を訪れ、果物を使った料理をふるまうなどの奉仕活動を行ってきた。本年度中にNPO法人格を取得する予定で、障害者や高齢者が自然の中で健康維持や生きがいづくりに取り組む「くればは丘陵癒しの里」の設立などを目指したい、としている。

NPO設立支援へ 鯖江の団体に30万

鯖江の団体に30万
損保ジャパンが寄付
NPO法人の支援をし
ている損保ジャパン記念財団は二十三日、鯖江市の市民グループ「さわやかさばえボランティア虹」(天谷まり子代表)に設立資金として三十万円を寄付した。同財団は、一九九九年から民間福祉活動を進めようとして「NPO法人設立

資金助成」事業を行っており、今年は全国から応募があった二百八十四団体のうち百団体が選ばれた。贈呈式は福井市中央三丁目の損保ジャパン福井支店で行われ岡崎和夫支店長が同グループの青山紀會子事務局長に助成決定の通知書を手渡した。

本県で唯一選ばれた同グループは七月に県からNPO法人の認証を受けており会員は四十五人。高齢者や身障者の家事援助などをボランティアで行っている。

2 団体に 30万円贈る

NPO法人
設立資金助成

損保ジャパン記念財団
と損保ジャパン環境財団
の「NPO法人設立資金
助成」制度に県内2団体

が選ばれ、大津市打出浜
の損保ジャパン滋賀支店
で15日、助成金30万円が
それぞれ贈られた。今年
は全国で計329件の申
請があり、計115団体が
選ばれた。



助成金を贈られるNPO団体代表ら（右）
＝大津市打出浜の損保ジャパン滋賀支店で

県内の助成団体は、知
的障害者の自立支援をし
ている「地域生活サポー
トセンターじゅぶ」と廃
油リサイクルなど代替エ
ネルギー開発をめざすN
PO法人「エコロシー・
グリーン・ファミリー」。
同法人の塚本裕之理事長
は「地球規模の環境問題
に民間レベルで取り組め
ることをしたい」などと
話していた。

【藤田祐子】

NPO法人設立を助成

損保
記念
財団

県内の福祉9団体へ

損保ジャパン記念財団
(有吉孝一理事長)は二
十一日、障害者や高齢者
などの福祉活動に取り組
む県内の九団体に、特定
非営利活動法人(NPO
法人)の設立に向けた助
成金三十万円をそれぞれ
贈った。

贈呈式では、各団体の
代表らが決定通知書を受
け取り、NPO設置に向

けた準備や苦勞話などを
報告。神戸市兵庫区の「自
立生活支援センター・リ
ングリング」の石地かお
る事務局長(三巴)は「何よ
り活動を認めてもらえた
ことがうれしい。金銭的
な支援が受けにくい中、
有効に使いたい」と話し
た。

ほかに助成を受けたの
は、マザーサポートの会



助成の決定通知書を受け取る団体の代表者ら
＝中央区栄町通3、損保ジャパン兵庫本部

▽阪神移動サービスネッ
トワーク▽すまいる・フ
レンズ(以上神戸市)▽
ウィ・リアル▽地域共生
スペース・ぶりは(同尼
崎市)▽地域生活支援セ
ンターれん(西宮市)▽
おりむ21(明石市)▽
淡路島ファミリーサポー
トセンターまあるく(津
名郡東浦町)。